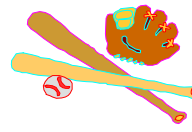


レ ス ス ン プ ラ ン

2 学年 第 1 回 (自己理解)

テーマ:「わたしの思い出」

授業の目標:



- (1)子どもたちは「自己」を認識し、自分を大切にすることを知る
- (2)自分自身のこれまでを振り返り、どう今の自分に関係しているかを理解する

用意するもの:

ALT

担当教師

- ALTは自分の名前の由来を説明・発表できるよう準備
- 「自分だけの特別な手」ワークシート
- 手形をとるためのスタンプ台、活動用ワークシート(人数分)、ウェットティッシュ

- 担当教師も自分の名前の由来を子どもたちに説明できるよう準備
- 「大切な思い出」ワークシート(とても良かった思い出を1つ取り上げてその絵を事前に描かせておく(絵はおもちゃ、行事、もの、人、何でも可))
- 事前に子どもたちを4人グループに分けておく

時間	活 動	気づいた点
1分	ALT、担当教師はあいさつし、本時のテーマを告げる。	
5分	ALT(できれば担当教師も)は自分の名前の由来について子どもたちに分かりやすく話す。	
4分	ALTと担当教師は、もし子どもたちが自分の名前の意味と由来を知っている場合には、説明を求める。(ここは、知っている子どもがいれば聞いてみる。)	
20分	子どもたちは4人グループになり、手形押しに必要な物を使用して「自分だけの特別な手」ワークシートに、それぞれ手形を押す。子どもたちは、グループの仲間の手形を比べ合い、相違を確認する。ALTと担当教師は、世界中どこに行っても自分と同じものはないことを告げ、自分たちが、他人とは違うものを持つ特別な存在であることを確認する。	
13分	子どもたちは同じグループで、「大切な思い出」ワークシートをお互いに見せ合う(このワークシートはALT訪問前に描かせてあるものとする)。子どもたちは絵を見せながら、とても良かった思い出、或いは一番思い出深いものとしてなぜそのおもちゃ、出来事、人、物を選んだのかを説明し、それぞれの思い出を分かち合う。グループの代表1名はクラス全体に対しても自分の思い出を紹介する。(時間に余裕がなければ、グループ内での発表で終了)	
2分	担当教師は自分たちのこれまではどんなものによって作り上げられているか、例として様々な出来事、性格、家族、友だち等を挙げ、本時を振り返る。そして、自分の他とは違う部分や似ている部分が、自分が「自分」であることにとっても影響していることを説明し、子どもたちに大切な「自分」を確認させる。	